

# 平成 25 年度部局運営方針（土木部）

## 1 部局の方針

### (1) 基本方針

道路網の整備と調和した既存道路の維持管理による安全・安心で快適な生活環境が持続できるまちを目指す。

### (2) 現状、課題(特に重要な課題を明確にしてください)

- 1 柏市道の穴、ひび割れ、段差などの老朽化と橋梁の長寿命化対策  
アスファルト舗装補修件数 1,026 件(道路サービス事務所補修含む)、舗装改良 34 件  
(23 年度)  
市道に架かる 176 橋は老朽化が進み、特に緊急輸送道路、J R・東武線、常磐高速や主要幹線道路等に架かる橋梁については、損傷拡大を防ぐ修繕工事が必要である。
- 2 都市計画道路等の未整備による歩行者の安全と防災機能の低下、交通渋滞。また通学路の危険箇所の解消と地元町会、近隣市との連携のための道路整備  
○都市計画道路整備率 36.7%(H23 年度末)  
※計画延長 150.310 k mの内 55.09 k mの改良延長  
○通学路、地元要望、近隣市(我孫子、流山市)との連携のための市道の整備
- 3 新市建設計画に伴う道路整備  
整備率約 29%(平成 23 年度末)約 18,000mの内約 5,300m  
合併特例債活用期間を平成 31 年度まで延伸
- 4 交通結節点におけるバリアフリー化の遅れに伴う移動円滑化及び安全対策  
(道路特定事業区間整備率：約 30%，鉄道駅転落防止対策実施済み：11 駅中 3 駅)
- 5 高齢者、子供など移動制約者の日常生活における移動手段の確保  
(市内自動車運転免許不保持者数：約 15 万人)
- 6 既設駐輪場の老朽化対策と有効な放置自転車対策  
既設立体駐輪場 7 施設の内 5 施設は、昭和 50 年代から 60 年代前半に建設され老朽化が著しい。また、放置自転車は J R 常磐線、東武線の駅周辺に多く、定期的な巡回・指導、撤去を実施しているが、1 日当たり約 500 台が放置されている。

### (3) 目指す方向、重点目標

- 1 柏市道及び橋梁における従来の事後保全的な維持管理に代え、計画的な修繕により予防保全的な維持管理を実施し道路、橋梁の延命化を図り安全対策の充実と事故の軽減、修繕費の平準化を図る。
- 2 都市計画道路等の主要幹線道路の整備と交差点改良は道路整備プログラムに基づき整備するとともに柏市北部区画整理事業の関連道路については区画整理事業の進捗に合わせて整備する。その他都市計画道路を補完する道路の整備や関連事業に伴う地元要望の道路整備、通学路の安全対策のため小学校、教育委員会、所轄警察署との連携を図り道路整備を実施する。
- 3 新市建設計画に基づき、速やかな新市の一体感の醸成と沼南地区の市民の利便性の向上を図り、合理的な土地利用の推進、新市の拠点となる柏駅、北柏駅、逆井駅へのアクセスの向上を目指す。
- 4 交通結節点におけるバリアフリー対策の推進
- 5 公共交通空白不便地域における公共交通対策。特に旧沼南地域の既存公共交通（かしわコミュニティバス）運行終了に伴う代替交通手段の確保
- 6 既設駐輪場の修繕と計画的な整備により、延命化を図るとともに、駐輪場の統廃合と指定管理者制度の活用を図り利便性の向上とコスト縮減を図る。

### (4) 施策、目標達成の取り組み(施策の優先順に記入してください)

- 1 主要幹線道路は現況調査を継続的に進め、それに基づき道路改良計画をまとめ計画的に整備改良して行く。橋梁の長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工事を進め、橋梁の延命化と修繕費の平準化を図る。
- 2 事業認可路線の整備を推進するとともに千葉県が実施している街路事業を促進する。  
その他地元の要望に沿い、道路事業及び緊急対応事業の実施をするとともに行政境の道路整備を実施する（我孫子市、流山市）。
- 3 新市建設計画に基づく幹線道路整備延長
  - ① 沼南センター地区～大井～柏市中心部を結ぶ路線約 4,300m整備
  - ② 沼南センター地区～名戸ヶ谷～新柏駅を結ぶ路線約 500m整備
  - ③ 沼南東部地区～箕輪～柏市中心部を結ぶ路線約 12,100mの整備
  - ④ 沼南東部地区～塚崎～逆井駅を結ぶ路線約 1,100m整備
- 4 鉄道駅のバリアフリー化の推進  
東武高柳駅の東西自由通路を整備することで高齢者や障害者等の駅利用者の利便性を高め、誰もが利用しやすい鉄道駅としていく。また、安全安心な鉄道利用環境を創出するため、市内鉄道駅における転落防止策などの安全対策を推進する。また、北柏駅北口連絡橋のバリアフリー対策を推進する。
- 5 公共交通空白不便地域の解消  
旧沼南地域における公共交通（予約型乗合タクシー及び乗合ジャンボタクシー）の再編により市民の日常の移動手段を確保するとともに、実証実験の結果を踏まえ、他の公共交通空白不便地域における展開の可能性を探る。
- 6 老朽化した立体駐輪場の計画的修繕、建替え、駐輪場の統廃合及び指定管理者制度の活用を図る。

(5) 平成25年度の取組み

	施 策	取組み, 事業, 目標等
1	道路, 橋梁の長寿命化	職員の主要道路の現況調査・点検を踏まえながら道路舗装管理計画を策定し, 合わせて既道路改良5ヵ年計画に基づく改良工事と道路排水工事合わせて27路線を実施。また橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕工事の実施。平成25年度常磐自動車道(緊急輸送道路)に架かる6橋梁の修繕と26年度分の実施設計(JR常磐線)の実施
2	都市計画道路, その他市道整備と近隣行政との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊四季宿連寺線, 船戸若柴線, 向中原山越線, 吉野沢高野台線 高柳藤ヶ谷新田線の都市計画道路の整備</li> <li>・旧西口三号線道路整備事業, 逆井字下田道路整備事業</li> <li>高田小学校地先通学路道路拡幅整備事業, 緊急対応道路整備事業, 柏の葉三丁目歩道整備事業, 市道01123号線道路整備</li> <li>・土谷津先道路拡幅整備事業(我孫子市), 都市計画道路3・5・29号(暫定)整備事業(流山市)</li> </ul>
3	新市道路の整備	<p>①沼南センター地区～大井～柏市中心部を結ぶ路線の道路整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[市道01093号線] 大井妙照寺下及び大井妙照寺入り口付近の道路整備 工事 延長 L=470m</li> </ul> <p>②沼南東部地区～箕輪～柏市中心部を結ぶ道路整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[市道02050号線] 東台本町交差点から国道16号戸張入口交差点付近までの道路整備 延長 L=140m</li> <li>・[市道01093号線] 大井新田地先から「そば・花鴨」付近までの道路整備 延長 L=390m</li> </ul>
4	鉄道駅のバリアフリー化の推進 (目標値・H27) 鉄道駅のバリアフリー化率 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東武高柳駅に関して, 24年度実施の自由通路の基本調査を踏まえ, 25年度に実施設計を行い, 26年度に自由通路の整備, 供用を目指す。</li> <li>・東武柏駅にホーム柵を設置(25～27年度)するとともに, JR柏駅には内方線付点字ブロックを設置する。(各鉄道事業者の施工)</li> </ul>
5	公共交通空白不便地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼南地域において25年1月から実証運行を開始。予約型相乗りタクシーの実験を25年度も継続し, 25年度後半を目途に実験結果を踏まえた本格運行に移行する。</li> <li>・予約型相乗りタクシーの導入に併せ, 25年4月から沼南地域乗合ジャンボタクシー路線の再編を行う。</li> </ul> <p>上記実験結果を踏まえ, 予約型相乗りタクシーの他地域への展開の可能性についても検討する。</p>
6	既設駐輪場の老朽化対策と有効な放置自転車対策	<p>①自転車等の駐車対策に係る総合計画の策定</p> <p>②既設駐輪場の修繕計画と, 指定管理者制度の導入を視野に入れた既設駐輪場の修繕の実実施設計及び修繕を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏駅東口第1, 西口第1駐輪場修繕実施設計, 柏駅東口第2耐震実施設計</li> </ul> <p>③柏駅東口第1駐輪場修繕, 防犯カメラ設置</p>

## (6) 経費縮減、財源確保の取組み

### 1 平成25年度の取組み

- ①社会資本整備総合交付金の活用
- ②予約型相乗りタクシーにおける出来高方式による委託導入
- ③既設駐輪場の修繕（柏駅東1，柏駅西1）による長寿命化策を検討し，積極的な指定管理者制度の導入に向けた検討を行い，駐輪場利用者の利便性の向上とコスト縮減を図る。
- ④合併特例債の活用期間が延長により整備期間を平成26年度から31年度までとした。

### 中期的な取組み

- ①橋梁長寿命化，道路改良事業計画の策定による道路，道路施設の延命化と長期的には維持補修費の軽減化を図る。
- ②定数減に伴う適正な実施業務の見直し（道路サービス）
- ③市営駐輪場の統廃合，借地駐輪場の返還の推進，指定管理者制度の導入の促進ならびに適正な駐輪場使用料の見直し

## 2 予算要求

### (1) 要求額（一般会計）

単位：千円，%

	歳入		歳出	
	金額	増減率	金額	増減率
平成24年度当初予算	2,325,357	—	3,452,589	—
平成25年度要求	2,790,835	20.0	4,598,792	33.2

※歳入，歳出の差は市税等一般財源を充当します。

### (2) 前年度との比較（相違，工夫，主な増減理由等 1の(6)と重複可）

#### 1 歳入

- ①芦川橋架け替え負担金において，平成24年度当初予算では補助率0.5としていたが，高率補助0.8となり起債対象額が減となる。
- ②自転車等の駐車対策に関する総合計画策定経費に係る国庫補助金の活用，3,500千円の増
- ③・国庫補助金：補助対象事業を前年度より増やしたため，社会資本整備総合交付金等の増額  
前年比：632,005千円の増  
・起債：合併特例債の導入。例年とほぼ同程度の事業規模の合併特例債事業だが，国庫補助対象事業費を増したため，起債額が前年度より減少  
前年比：80,100千円の減

#### 2 歳出

- ①道路維持管理課
  - ・バリアフリー特定事業計画策定と視覚障害者用誘導ブロック設置工事10,940千円
  - ・道路改良事業217,154千円  
田中調節池内中央幹道復旧工事，道路改良27工事の実施
  - ・橋梁長寿命化事業（常磐自動車道横断橋工事，設計負担金等）85,000千円
  - ・通学路交通安全施設整備事業16,500千円
- ②道路サービス事務所
  - トラック2台廃車，新車購入1台（実質1台減），新車購入費用等で4,327千円増
- ③道路交通課
  - 予約型相乗りタクシーにおける事業者へのインセンティブ制（1予約につき千円）採用による利用状況に応じた委託契約導入（利用者がいない場合には市の金銭支出なし）
  - 柏コミュニティバスに対して1,234千円の運行経費削減

#### ④交通施設課

- ・ 柏交通安全協会への補助金の見直し 200 千円の削減
- ・ 自転車等の駐車対策に係る総合計画策定に係る業務委託 7,000 千円の増
- ・ 既設駐輪場の再整備事業（柏駅東 1，柏駅東 2，柏駅西 1，防犯カメラ設置等）に係る委託費・工事請負費の 20,685 千円の増
- ・ 入金業務に係る経費の 2,670 千円の増 　ただし，巡回員 1,095 千円の減  
　　駐輪場一時利用の現金を各駐輪場の詰め所に夜間保管しないよう，日々集金し指定口座に入金する業務
- ・ 自転車等放置禁止区域外の放置自転車等移送業務委託の新規発注 955 千円の増

#### ⑤道路整備課

- ・ 新規道路整備事業の増加（柏の葉三丁目歩道整備，高田小学校先道路整備，市道 01123 号線道路整備）
- ・ 都市計画道路整備で船戸若柴線，高柳藤ヶ谷線の事業量の増加

#### ⑥新市道路整備課

- (1)①路線：工事延長，用地買収が前年より増えたこと，及び平成 26 年度以降の工事に伴う調査設計費が増えたため，予算総額が前年度より増額となった。  
前年比：43,352 千円の増
- (2)③路線：用地費，損失補償費が前年より増えたため，予算総額は前年より増額となった。  
前年比：13,455 千円の増
- (3)④路線：用地交渉が難航していることから，平成 24 年度工事完了箇所境界杭設置委託だけとなったため，予算総額は前年より減額となった。  
前年比：41,682 千円の減

## 駐車場会計

### (1) 要求額

単位：千円，%

	歳入		歳出	
	金額	増減率	金額	増減率
平成24年度当初予算	194,000	—	334,000	—
平成25年度要求	165,797	△14.5	365,797	9.5

※歳入，歳出の差は一般会計からの繰入金を充当します。

### (2) 前年度との比較

#### 1 歳入

- (1) 施設の老朽化に伴う防水改修工事の実施，利用者減に伴う売上減少，長期借入金償還金元金及び利子増加による一般会計繰入金 前年比 60,000 千円増

#### 2 歳出

- (1) 施設の老朽化に伴う防水改修工事及び設計委託 前年比 27,000 千円増  
(2) 長期借入金償還金元金及び利子 前年比 6,096 千円増

# 平成25年度部局運営方針(土木部：下水道関連)

## 1 部局の方針

### (1) 基本方針

- 浸水被害がおきないまちづくり
- 老朽化対策
- 下水道事業の健全経営

### (2) 現状、課題(特に重要な課題を明確にしてください)

- 下水道整備
  - ①雨水対策
    - ・市内 60 箇所の浸水被害が発生しており、約 500 件の被害が発生している。
  - ②汚水対策
    - ・区画整理事業の進捗に併せた整備やコミュニティ・プラントの切替え整備が必要となる。
  - ③健全経営
    - ・保有施設における更新時期を迎えており、更新に必要な自主財源(下水道使用料)が必要となる。

### (3) 目指す方向、重点目標

- 下水道整備
  - ①雨水対策
    - 床上浸水が発生している地区を優先に雨水の幹線整備や排水機能の向上を図る。
    - 目標：平成 27 年度までに床上・店舗浸水被害 253 件→124 件へ削減(51%減)
  - ②汚水対策
    - 区画整理事業等の進捗に併せて整備を図る。
    - 目標：柏北部中央地区(平成 34 年度)、柏北部東地区(平成 30 年度)
  - ③健全経営
    - 施設の更新は、特定財源(国の交付金)を確保しながら進める。
    - 目標：平成 27 年度までに約 1.2km の整備を図る。
    - 更新に必要な自主財源が確保できる経営基盤とし、健全な経営に努める。
    - 目標：平成 26 年度から地方公営企業法の適用を受け、経営基盤の構築を図る。

### (4) 施策、目標達成の取り組み(施策の優先順に記入してください)

- 下水道整備
  - ①雨水対策
    - 計画的な整備を図るため、用地確保や特定財源を確保しながら、雨水幹線等を実施する。
  - ②汚水対策
    - 区画整理事業は特定財源を確保しながら整備を図ります。更に、コミュニティ・プラントの切替を実施する。
  - ③健全経営
    - 組織の見直しを図り、企業会計に向けた手続きを進める。

## (5) 平成25年度の取組み

	施策	取組み, 事業, 目標等
1	雨水対策  (目標値) 50.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>増尾・加賀地区の浸水解消のため, 大津川左岸第4号雨水幹線の延伸(H25~26年度) 総事業費: 450百万円(内当該年度: 200百万円)</li> <li>豊四季・今谷上町地区の浸水解消のため, 大堀川右岸第8号-1雨水幹線を整備(H25~27年度) 総事業費: 1,600百万円(内当該年度: 500百万円)</li> </ul>
2	汚水対策  (目標値) 89.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化対策 大堀川右岸第7-1号排水区: 110百万円(延長110m)</li> <li>区画整理事業地区内の整備 中央地区: 347百万円(内補助: 135百万円, 単独: 212百万円) 東地区: 300百万円(内補助: 235百万円, 調整池: 65百万円)</li> <li>東急ビレジの切替整備 事業費: 180百万円</li> </ul>
3	公営企業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の見直し 下水道関連部局を企業会計に対応した組織に見直すもの</li> <li>公営企業化に伴う設置条例の制定や打切り決算 企業会計を実施するための設置条例を制定し, 特別会計は25年度で打切り決算とする。</li> </ul>

## (6) 経費縮減, 財源確保の取組み

### 1 平成25年度の取組み

- ①企業会計への移行準備を進め下水道事業の経営基盤を構築し, 健全経営に努める。
- ②東急柏ビレジの切替え工事を進め, 1600世帯の下水道の普及を図る。(約1700万円増)

### 中期的な取組み

- ①企業会計移行後, 将来の更新費用を考慮した料金設定を図る。

## 2 予算要求

### (1) 要求額 (一般会計)

単位: 千円, %

	歳入		歳出	
	金額	増減率	金額	増減率
平成24年度当初予算	81,224	-	379,864	-
平成25年度要求	68,624	△15.5	417,589	9.9

※歳入, 歳出の差は市税等一般財源を充当する。



**(2) 前年度との比較** (相違, 工夫, 主な増減理由等 1の(6)と重複可)

**1 歳入**

- ・事業に応じた財源確保を図るため, 起債等を活用して進めて行く。

**2 歳出**

- ・下流整備に伴う関係市町村への負担金(松戸市・流山市・我孫子市)や水路整備に伴うフェンス等の設置を行う。(△37,626)
- ・流域貯留浸透施設の設置として学校施設内に設置する予定。(10,000)
- ・市民からの要望により, 年2回の草刈清掃委託を実施。(65,351)

**特別会計**

**(1) 要求額**

単位: 千円, %

	歳 入		歳 出	
	金額	増減率	金額	増減率
平成24年度当初予算	8,650,000	-	11,800,000	-
平成25年度要求	8,250,000	△4.7	11,400,000	△3.4

※歳入, 歳出の差は一般会計からの繰入金を充当する。

**(2) 前年度との比較**

**1 歳入**

下水道事業は, 少子高齢化社会の進展や経済成長の鈍化など, 変換の時期を迎えており, 今後の水需要に対応した料金改定を実施する。

**2 歳出**

- ・増尾・加賀地区の浸水解消を図るため, 雨水幹線を延伸する。
- ・豊四季・今谷上町地区の浸水解消を図るため, 3ヵ年の雨水幹線を実施する。【新規】
- ・東急柏ビレジへの切替え工事を進め, 平成26年度から1600世帯の普及を図る。